



とらいあんぐる



2019年10月

一音会ミュージックスクール発行

「職業」

かつて一音会に通ってくださっていた中学生が、先日、「職場体験」で一音会に来てくれました。

「職場体験」とは、学校の授業の一環で、いろいろな職業の現場を体験するものです。

教室と本部に来て、数日間、仕事をしてくれました。同僚のように、いっしょに作業をしたり、お昼を食べたり、短い間でしたが、本当に楽しい日々でした。

もちろん、この目的は、職業を実際に体験し、将来の職業を決める参考にする、ということです。

職業を決めるのは、とても難しいことです。

数年前に流行った「ナンバーワンでなくてもいい、オンリーワンであればいい」というメッセージは、ある意味、子どもたちを苦しい競争から解き放ちました。

人より劣っていることがあってもいい。「自分らしく」あればいい。個性的な存在であればいい。

でも、それから何年も経って気づくのです。

「オンリーワン」になることも、それはそれで、ものすごく難しいじゃないか！と。

ある意味、走るコースが決まっている分、「ナンバーワン」を目指す方がまだ簡単なのではないか、とも思えます。

「将来、何になりたい？」

おとなはいとも簡単に、子どもにたずねます。

そこに「オンリーワン」の呪縛がひそんでいます。

どこにでもたくさんいるような人じゃダメで、なにか特別な存在にならなくてはいけないような気分になります。



「なんとなくぼんやり生きていてはいけないんじゃないか・・・」という焦りも生まれます。

「みんなと同じように、普通に生きていけばいい・・・」。そう思っている控えめな子は、否定されかねません。

「自分らしく」生きなければいけないとなりますと、職業を決めるのも、一大事です。

よくいわれるのは、「得意なことを仕事にしましょう」という理論です。

特に秀でていることがある子は、それで良いと思います。

ですが問題は、得意なことがない子です。そしてそんな子はたくさんいます。

勉強は普通。運動も普通。絵も普通。お習字も普通。ピアノも普通。

私もそんな一人でした。

しいていうなら、絵は得意なほうでした。「上手ね」と、よくほめられました。学校の絵画コンクールで、何度か賞をもらいました。

でも、そんなことではダメなのです。いくらほめられたとしても、プロになれるレベルではない、ということは、子どもであっても分かってしまうのです。

結局、職業にできるほど得意なことはありません。

次に出てくる理論は、「好きなことを仕事にしましょう」というものです。

かなりハードルが下がりました。

「どんなことが好き？」

「何がやりたい？」

これはさっきより主観的なので、まだ良いように思えますが、これも実はクセモノだと、私は思っています。

小学生時代、私が一番好きだったことは、おひるねでした。

毎日、おひるねしていました。ずっとおひるねしていられたら良いのに、と思いました。

でも困ります。

おひるねは職業になりません。

次に好きなことは、ネコをこねるこ

とでした。毎日、自分のネコをこねまわして遊んでいました。

「そんなに動物が好きなら、獣医さんとか、ペットトリマーとか、どう？」

おとなは、きっとそう提案するのでしょう。

でも違うのです。苦しむ動物を見るのはイヤなのです。獣医さんは、むしろ絶対なりたくない職業の1つです。

動物の手入れをしたいわけでもありません。むしろ興味はありません。

自分のネコだけを、ただこねていたのです。



「そんなにワガママ全開だったら、仕事なんてできない！」と、誰しも思うでしょう。

そうなのです。

好きなことを追求していると、仕事につながりません。

そもそも好きなことだけをしてられる職業はありません。

「好きを仕事に」の理論は、仕事に就いても、好きじゃなくなってしまうたら、「これは自分に合わなかった」と、フイとやめてしまうことにつながります。

「好きなことを仕事にする」という考え方にも、私はどこかあやうさを感じるのです。



私が思っていることを書きます。

「誰かのためになる」というのが、仕事の原型なのではないかと思うのです。人のためになること、世の中のためになること、それが仕事です。

子どもが、お手伝いでお皿を洗います。洗わなくてすんだお母さんは喜びます。お皿を使う家族のみんなも、お皿がきれいなので喜びます。みんなが、その子に「ありがとう」といいます。その子はうれしい気持ちになります。

この「お皿洗い」は、仕事です。

おうちの中なのでお給料は出ませんが、家の外でやれば立派な職業です。

それで良いのではないのでしょうか。

「自分はお皿洗いに向いているか？」などと、難しく考えることはないと思うのです。

自分は誰をどんなふうに喜ばせたいのだろう？

どんな人に喜んでもらえると自分はうれしいのだろう？

そんなふうに考えると、職業が見え

てくるかもしれません。

おいしいものを作って、食べた人に喜んでもらいたい人は、調理師さんに。

カッコいい車を作って、車の好きな人に喜んでもらいたい人は、自動車メーカーに。

子どもたちに勉強を分かりやすく教えてあげたい人は、学校の先生に。

すてきな音楽を奏でて、聴く人に楽しんでもらいたい人は、演奏家に。

おとなになってからいうのは恥ずかしいのですが、心理学者という職業を選んだ私は、結局、「母の役に立ちたい」というだけで、この職業を選んでしまったような気がします。

音楽心理学を学ぶことが、一音会と「江口メソッド」の役に立てると信じました。

驚くべき視野のせまさですが、この歳になっても、後悔は一切ありません。

自分に向いていたかどうかは、今もって分かりません。そんなことを考えたことがありません。向いていなくて

もやるしかなかったからです。

特に私が親孝行だったというわけではありません。私が進路を考える中高生の時代、母は病気からくる全身の痛みに苦しみながら、一音会を作り、「江口メソッド」を世に出していました。当時、車椅子に乗った母は、一歩も歩くことができませんでした。

明らかに困っていて助けが必要な母が身近にいた私は、職業を選ぶだけの余裕がなく、ある意味、幸せだったのかもしれない。

自分は何が得意か？

自分は何が好きか？

自分の中を見つめることは大切です。

でも、自分の中を見つめて答えが出ない時は、いったん視点を変えて、まわりを見て、誰をどんなふう to 喜ばせたいか、考えてみると良いのかもしれない。

将来の職業に悩む子には「難しく考えなくていいんだよ」といってあげたい気持ちです。 (江口 彩子)

◆台風による臨時休校では、ご迷惑をおかけしました

史上最大級の台風19号上陸にともない、10月12日(土)のレッスンをすべて休講とさせていただきます。一音会の長い歴史の中でも、全日臨時休校は、はじめてのことでした。通学の生徒さんの安全を第一とした措置でしたが、たいへんご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

できるかぎり、補講をさせていただきたいと思っております。補講の日時につきましては、主に主担当から個別にご相談をさせていただきます。リトミックレッスンにつきましても、いくつかのクラスは、10月12日(土)の補講として、11月2日(土)にレッスンをおこないます。いらっしゃれる方は、ぜひご参加ください。補講がかなわない場合は、12日(土)の分のお月謝をご返金させていただきます。

また、10月13日(日)も、午前中、一部交通が乱れ、そのせいで欠席せざるを得なくなった生徒さんがいらっしゃいました。その場合も、12日(土)と同様、できるだけ補講をさせていただき、補講がかなわなかった場合は、ご返金の形で対応させていただきます。ご了承ください。

今回、休校措置の前日に、ご家族の皆さまに急きょ、ご連絡させていただきました。お忙しい中、ご対応くださいましたこと、ご理解を示してくださいましたことに、深く感謝しています。

皆さまのご理解にも助けられ、今、生徒さん全員がご無事であることを、たいへん嬉しく思っています。本当にありがとうございました。



◆「音楽の集い」を開きます

今年も11月3日（祝）に、「音楽の集い」を開きます。「音楽の集い」は、おとなの方の発表会です。

多くの方にお申し込みをいただきました。はじめてのご参加の方もいらっしゃいます。勇気を出して、ご参加をお決めくださり、ありがとうございます。「もっとはやく参加しておけば良かった！」とおっしゃっていただけますよう、スタッフ一同、サポートにつとめます。

「音楽の集い」は20年以上の歴史を持ちますが、スタート当初から毎年、ご参加くださっている方もいらっしゃいます。1年に1度、この舞台でお姿を拝見できることを心から楽しみにしています。

音楽を愛するおとなが集うこの日、会場全体があたたかい空気に包まれます。ご興味がある方はぜひ足をお運びになって、輪に加わってください。入場無料です。

歌あり、ピアノあり、曲もクラシックにとどまらず、自由で楽しい会です。増田先生による、講師演奏も予定しています。

また、ささやかなお菓子と飲み物をご用意しています。お時間のゆるす方は、おしゃべりを楽しんでいってください。お茶を飲みながら、おとな同士、楽しく交流しましょう。

日時：11月3日（祝） 12：00開場 12：30開演

場所：ひびきホール （豊島区南長崎5-8-12）

「ひびきホール」は、西武池袋線「東長崎」駅、南口より徒歩7分「まいばすけっと」の3階です。



◆「ピアノ・トライ」のお申し込みについて

例年通り、2020年1月より、「ピアノ・トライ」をおこないます。

「ピアノ・トライ」は、エチュードやバッハの作品といった、基礎力やテクニックにごまかしがきかない曲を課題曲とし、普段のレッスンの先生ではない、ベテラン先生が、お一人お一人の弾き方や表現や練習に問題がないか拝見し、さらに上手になっていただくためのアドバイスをお出しするものです。

ピアノ発表会の目的は、大きな舞台で普段の力を出すこと、です。演奏について、普段の先生以外の先生がアドバイスをさせていただくことはありません。「ピアノ・トライ」の目的は、普段の練習を見直し、さらに上手になっていただくこと、です。

「健康診断」だと思って、すべての生徒さんにお受けいただきたいと思っています。年のはじめに、1年間の成果を確認した上で、今後の課題を整理しておくことは、大切です。

「ピアノ・トライ」をお受けになった方の中で、すてきな演奏をされた方には、「ひびきホール」でおこなわれる演奏会「ル・コンセール」にご出演いただけます。

「ル・コンセール」は、1回目を2020年2月9日（日）に、2回目を2月23日（日）に予定しています。

(1) 電話申込み（申込み先 TEL 03-5966-7711）

12月4日（水）

12月7日（土）

※両日も朝10:00～夕方16:00までの受付です。各日先着順とさせていただきます。

※例年、電話回線が混み合い、つながるまでに時間がかかる場合がございます。ご容赦ください。

※申込みの際に、演奏曲目が決まっていたら、曲目・作曲者名をお知らせください。

(2) 日程（全て「バッハはうす」でおこないます）

① 1月25日（土） 初級・中級（午後2グループ 山本先生予定）

② 1月26日（日②） 初級・中級（午後3グループ 夏目先生予定）

- ③ 2月2日(日) レッスンなし 中級 (午前2グループ 夏目先生予定)
 // 初級 (午後3グループ 能勢先生予定)
- ④ 2月11日(火・祝) 初級・中級 (午前2グループ 能勢先生予定)
- ⑤ 2月15日(土) 初級・中級 (午後4グループ 山本先生予定)
- ⑥ 2月16日(日①) 中級～ (午後2グループ 夏目先生予定)

※ 進度は目安ですので、日程的なご都合を優先していただいても大丈夫です。

※ 進度の異なるごきょうだいを、同じ日の時間帯にお組みすることもできます。

(3) 参加費

2200円

※参加費は、お月謝引き落とし時に加算させていただきます。当日、参加費をお持ちになる必要はありません。

(4) 課題曲

以下の中から任意の1曲

- ・バッハおよびバロック時代の作品
- ・エチュード
- ・ポリフォニーの曲

ただし、絵音符の生徒さん、五線の曲に入ったばかりの生徒さんの曲目は自由です。



◆「ヘンデルはうす」を施錠します

先月号でお知らせいたしましたように、防犯のため、「ヘンデルはうす」正面玄関の扉を11月1日より施錠させていただくことにしました。ご利用の皆さまには、ご面倒をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

暗証番号を入力し、開錠する方式です。すでに、暗証番号を記したご案内のお手紙を担当からお渡ししていると思います。万が一、「ヘンデルはうす」をご利用の生徒さんで、まだ手紙を受け取っていない方がいらっしゃいましたら、主担当の先生か、「ショパンはうす」受付まで、お問い合わせください。

なお、うっかり暗証番号を忘れてしまった！という場合は、「ショパンはうす」受付にお越しください。お電話でのお問い合わせに暗証番号をお伝えすることができない点、どうかご了承ください。

特にお願いしたいことは、玄関から入った後、出た後、かならずカギをかけていただきたいこと、です。重ねてよろしくお願いいたします。



*学校の生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp

電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。